

<p>【目指す学校像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統を未来につなげる学校</li> <li>○自分の可能性を引き出せる学校</li> <li>○安心して通える学校</li> </ul>	<p>【目指す生徒像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○確かな学力と豊かな個性をもった生徒</li> <li>○思いやりの心と規範意識をもった生徒</li> <li>○「笑顔」「真剣な顔」「誇らしい顔」を実現した生徒</li> </ul>	<p>【目指す教師像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○立川一中を愛する教師</li> <li>○生徒一人一人を大切にする教師</li> <li>○授業を大切にする教師</li> </ul>
--	---	---

確かな学力の育成

○基礎的・基本的な知識や技能の習得

○学習意欲の向上や学習習慣の確立

○思考力・判断力・表現力等の育成

授業に向かう意識の向上

集中して、授業に取り組みたい。  
仲間や先生と一緒に学びたい。  
「わかった・できた」という実感をもちたい。

- (1)授業展開の工夫・改善  
→学習のねらいや学習活動の手順を提示  
→学習の振り返りを通し、成果と課題を確認
- (2)個に応じた指導の充実  
→習熟度別・少人数授業の実施(数学・英語)
- (3)宿題提示の工夫  
→宿題内容や努力の成果を発揮できる場の工夫  
→授業内で定期的な小テスト等を実施(3教科)
- (4)授業評価・改善  
→生徒アンケートの実施(年2回)と実態把握  
→国・都の学力調査の結果分析  
→『授業改善推進プラン』の作成と授業改善

- 《教育力向上推進モデル校》平成26年度より  
小中連携教育活動の充実  
→小学校との接続を意識した授業展開  
→小学校の授業への中学校教員の派遣事業
- ◎《ICT教育推進研究校》平成28年度より  
ICTを活用した授業改善の取組
- ◎《学力ステップアップ推進地域指定事業》  
平成28年度より  
基礎学力定着アドバイザー・指導力向上アドバイザーを活用した授業改善の取組(数学・理科)

学習機会の拡充

どのくらい理解できているのか確認したい。  
わからないところを教えてもらいたい。  
もっと詳しく学びたい。

- (1)「ステップアップ教室」(考査範囲の総まとめを行う)  
定期考査前の学習教室 4日間(3日間)  
(6/16~21 9/6~9 11/14~16 2/20~23)  
復習授業コースと自主学習コースを設定(5教科)  
全教員が支援
- ☆(2)「土曜学習教室」(学習の定着度を確かめる)  
定期考査前の学習教室 土曜日午後  
年4回×3時間(6/18 9/10 11/12 2/18)  
力試しコース、個別支援コース、自習コースを設定(3教科)  
学校関係者+大学生+高校生+地域人材を活用
- (3)「サマースクール」(5教科の実力アップを目指す)  
夏季休業中の学習教室 3日間(7/25~27)  
全教員及び小学校教員が支援
- ☆(4)「水曜学習教室」(生徒の自主的な学びを応援)  
学習支援員を配置した自学自習教室  
定期考査前・一斉下校等を除く毎週水曜日  
(9/21~2/8 計14回)
- (5)各種検定(漢検1回・数検2回・英検2回)の取組  
学習意欲の向上及び学習の成果を試す場の設定  
全教員が支援

学習習慣の確立への支援

もっとたくさん問題を解きたい。  
理由や根拠をじっくり調べたい、考えたい。  
テストの点数や成績につなげたい。

- (1)「一中学習ガイド」(5教科)を作成(1年生)  
→ガイダンスを通した授業や家庭学習の具体的な方法の理解  
※2・3年生もガイダンス旬間の中で指導
- (2)WAT 観点・領域別達成度調査  
→達成度の分析と課題への気づき
- (3)「各教科の評価方法」の作成・配布  
→日々の学習と評価のつながりについての理解  
→見通しをもった学習計画(定期考査含む)の作成
- (4)通知表(学習の記録)の配布一面談開始3日前
- (5)「評価説明資料」の配布と、「学習・生活診断カルテ」の活用一面談開始3日前  
→学習状況の振り返りと課題確認のための十分な時間確保
- ☆(6)「学習・生活診断カルテ」を活用した面談の実施  
(1学期末・2学期末に三者面談を実施)  
→自己反省の確認と教員からの具体的なアドバイスを通した学びの質の向上

向上心を持ち、主体的に学ぶ生徒の育成